

がん遺伝子検査法としてのFRET-PHFA法の開発及び全自動遺伝子解析に向けた基礎評価

北野, 史朗

<https://doi.org/10.15017/1500672>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	北野 史朗			
論 文 名	がん遺伝子検査法としてのFRET-PHFA法の開発及び全自動遺伝子解析に向けた基礎評価			
論文調査委員	主 査	九州大学	客員教授	丸山 厚
	副 査	九州大学	教授	木戸秋 悟
	副 査	九州大学	教授	神谷 典徳

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は新規がん遺伝子検査方法として FRET-PHFA 法の構築と実際の大腸がん患者検体を用いた臨床性能評価、カチオン性くし型共重合体を用いた FRET-PHFA 反応の超高速化、インバーダー反応をモデルとした全自動遺伝子解析の実現可能性評価を行い、FRET-PHFA 法を基盤とした臨床検査システム構築が可能なことを明らかにしている。よって、医用生体工学上、価値ある業績と認める。